

## 銚子市公立保育所再編方針（案）に対するパブリックコメント実施結果

### 1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 令和2年1月6日（月）～令和2年1月31日（金）

(2) 意見提出者数 32名（89件）

### 2 提出いただいたご意見の概要と市の考え方

※関連するご意見を要約して抜粋しています。（全文は別紙参照）

番号	提出いただいたご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	<p><b>【方針案全体について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章が解りづらい。一般の人が見て長すぎて飽きる。シンプルに文章を作った方が良い。ざっくり目を通したが良く解らない。</li> </ul>	<p>方針案は項目別に記載するなど解りやすい文章になるよう努めました。また、グラフ、表、図面などを使った資料編を添付することにより、目で見ても解りやすくなるよう努めました。</p>
2	<p><b>【子ども子育て支援事業計画との整合性について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「子ども子育て支援事業計画」では基本理念として「銚子で生まれ育ち良かったと思えるような地域で支える『子育てのまちづくり』」を掲げているのに、保育所を減らすのはおかしい。</li> </ul>	<p>現在策定中の第2期銚子市子ども・子育て支援事業計画では、近年の少子化や核家族化の進行、共働き世帯の増加により、地域では人とのつながりが希薄化する傾向にあることから、地域における子育て支援として、子育て家庭における孤立感や不安を軽減するため、身近な子育て相談体制の充実、子育てに関する情報提供の充実を図ることとしています。</p> <p>具体的な事業としては、子育て世代包括支援センターすくサポ・家庭児童相談室・子育て広場の設置、子育てハンドブックの配布、子育てLINEの配信などを掲載しています。</p> <p>保育所も地域で支えるという側面がありますが、再編でより良い保育環境を整えることで、子育て支援の充実につなげていきたいと考えます。</p>
3	<p><b>【方針案の検討方法について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少対策を進めていこうとする中で、保育所の数を減らすことが得策ではないのは明らか。市民が納得できるように一方的な説明会ではなく、話し合いの場を持つこと、閉園以外の選択肢を持つことを今一度検討してほしい。</li> </ul>	<p>今回の方針案は、銚子市子ども・子育て会議に提示し、委員の皆さんのご意見を聴き、参考にしながら、市が方針案を策定しました。（方針案の決定権を全て会議に託したものではありません。）</p> <p>令和元年8月21日開催の会議で方針案の素案を提示し、同年10月16日開催の会議では、委員の皆さんからの意見集約結果を報告す</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>「再編方針（案）」はいったん白紙に戻して、『銚子市公共施設等総合管理計画』の精神に基づき、保護者や地域の皆さんへの十分な情報提供と意見交換から始めるべき。</li> </ul>	<p>るとともに、東部3施設のうち第二保育所を残す選択肢を説明しました。同年11月25日の会議で、第三保育所及び海鹿島保育所の閉所時期など具体的内容を盛り込んだ方針案を提示しました。この会議の後、同年12月上旬以降、各保育所の保護者会の皆様と調整を図りながら、令和2年1月に海鹿島保育所保護者説明会を2回、第三保育所保護者説明会を1回、地域住民説明会を2回開催しました。また、同時並行で、方針案に対するパブリックコメントを実施しました。これらを通じて説明を行ってききましたが、今後も引き続き情報提供に努めていきます。</p>
4	<p><b>【方針案の検討組織について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育所の経営者である事業団が（子ども子育て会議の）15名の委員に入っていないことに疑問。</li> </ul>	<p>方針案を議論した「銚子市子ども・子育て会議」は、保育施設等の利用定員の設定や子ども・子育て支援事業に関する事項の審議を行う常設の会議であり、保育所の再編を専門に検討するためだけに組織した会議ではありません。</p> <p>今回の方針案は、市が策定した案を、既に組織されていた会議に提示し、その案に対する委員の皆さんのご意見を聴き、参考にしながら、市が策定したものです。</p> <p>なお、現在の委員は、平成30年5月22日から2年間を任期として会議に参画しています。</p>
5	<p><b>【パブリックコメントについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海鹿島保育所の関係者の意見を聴取することなく今日に至ったことが遺憾。パブリック・コメントが形骸化されないよう望む。</li> </ul>	<p>今回の方針案は、銚子市子ども・子育て会議に提示し、委員の皆さんのご意見を聴き、参考にしながら、市が策定しました。令和元年11月25日の会議の後、同年12月上旬以降、各保育所の保護者会の皆様と調整を図りながら、令和2年1月に海鹿島保育所保護者説明会を2回、第三保育所保護者説明会を1回、地域住民説明会を2回開催しました。また、同時並行で、方針案に対するパブリックコメントを実施しました。これらの経緯をご理解いただきたいと思います。パブリックコメントにいただいたご意見には、市の考え方を示すとともに、必要な場合には修正を加えることとします。</p>
6	<p><b>【保育所の今後の方向性について】（公の放棄）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私立保育所がしているような、幼稚園を兼ねたような学習やスポーツは必要ないと思う。それを求める親御さんは私立保育園に行けば良く、そのようなカリキュラムがあるから私立保育所が良いとはならない。「のびのびと健康的に安全に保育する」公立保育所が駄目で、あ</li> </ul>	<p>市では、公立保育所と民間保育所に優劣をつける考えはありません。</p> <p>方針案では、公立保育所の必要性を考慮した場合、その全てを廃止することはできないとしています。</p>

	<p>たかも私立保育所が良い保育施設だという書き方は、子育て支援課が公立保育所のより良い運営を放棄して、民間に任せてしまおうとしているように思えてならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人類の、地球の宝ともいえる子供たちを育てていくことは公の義務。原則として、私立に委ねる考え方は公の放棄につながる。</li> </ul>	<p>公立保育所と民間保育所が相互に連携し、協力していく必要があると考えます。</p> <p>どちらを選択するかは、保護者の希望が最優先されるものだと考えます。</p>
7	<p><b>【保育所の今後の方向性について】（公立保育所の特色）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立保育所は定員割れとあるが、子育て世代に寄り添った柔軟な保育所になっていないからでないか。4か所の公立保育所を均一に運営するのではなく、それぞれの立地や規模を勘案して特色ある保育所にすることで、他の自治体に流出する子育て世代を食い止めることが可能だと思ふ。</li> </ul>	<p>例えば、各公立保育所では、春の遠足、夏祭り、運動会、生活発表会など共通の行事を行っていますが、その実施内容・方法は、各保育所の所長はじめ保育士が工夫を凝らし、それぞれ違った特色のあるものとなっています。また、共通行事以外に各保育所で考えた親子クッキング、ハロウィンパーティー、高齢者施設への訪問、お芋・キャベツ収穫体験などを実施しています。</p> <p>公立保育所として、一定の均衡は保たなければなりません、今後とも各保育所において特色ある保育所運営に努めていきます。</p>
8	<p><b>【保育所の今後の方向性について】（公立保育所の柔軟性など）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ （今後の保育所の方向性について）「多種多様な要望・サービスに対する柔軟性、意思決定の迅速性」について、1月21日の説明会では「公立保育所では年間の予算方針などが年度ごとにあり難しい。」とのことだったが、それこそが行政の改革が必要なところだと思う。子育て支援などは関わりのある課を縦横に結んで、アイデアを出し合う動きの良い汗を流す課にしてほしい。</li> </ul>	<p>方針案では「多種多様な要望・サービスに対する柔軟性、意思決定の迅速性」について、私立保育所の特徴として記載しています。説明会でお話ししたとおり、行政組織の中で、予算措置と事業執行の間に一定のルールがあることは確かですが、行政においても、柔軟性・迅速性を追求していかなければなりません。様々なアイデアを出して保育を実施していかなければなりません。</p> <p>公立保育所では、保護者負担が伴わないよう、例えば、年長児の消防署見学、公正図書館での本の貸出体験など工夫を凝らした取組を行っています。</p> <p>また、子育て支援課では、育児相談や情報提供を行う子育て世代包括支援センターすくサポ（健康づくり課）や、放課後健全育成事業（放課後児童クラブ）における教育委員会など他部署との連携を図りながら、子育て支援事業にあたっています。</p> <p>今後より一層、要望・サービスに対する柔軟性、意思決定の迅速性の確保と、他部署との横断的連携に努めていきます。</p>
9	<p><b>【保育所の今後の方向性について】（公立保育所のサービス充実）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再編は子どもの育ちを第一に考えたい。行政としては再編後、今まで以上に保育士の質の向上について気を抜くことなく、公立保育所のサービス充実に力を注いでほしい。</li> </ul>	<p>公立保育所のサービスを充実させるためには、保育士の能力のさらなる向上が必須であると考えます。引き続き、各種研修への参加などによる保育士の能力の向上に努めていきます。</p>

10	<p><b>【保育所の今後の方向性について】（指定管理者制度）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海鹿島保育所が指定管理者による民間経営保育所と市が結論するのであれば、全ての公立保育所の指定管理者制度への移行を望む。</li> </ul>	<p>方針案では、公立保育所の必要性を考慮した場合、その全てを廃止することはできないとしています。これは、公設公営の保育所を存続すべきとの考えです。全ての公立保育所を公設民営となる指定管理者制度への移行は考えていません。</p>
11	<p><b>【保育所の今後の方向性について】（公民一体）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大切な社会資源である保育所を地域に残すために「公立保育所の再編」ではなく、銚子市のこれからの保育を公立保育所、私立保育園が一体となって考えていくべきではないか。</li> </ul>	<p>人口減少に伴う保育所入所対象児童数の減少、民間活力の活用、公立保育所施設の劣化・老朽化に伴う維持改修経費の負担、保育士の状況を考慮すると、公立保育所の再編は避けては通れない課題であると考えます。</p> <p>公立保育所を再編により集約することは、一定規模の入所児童数を保ち適正規模での集団生活の機会を維持できる。・遊具などの設備、備品も含め、施設の維持改修費用を存続する保育所に集中して投資できる。・保育士の正規率が高まることによって生じた人的資源を特別な支援を要する児童への対応拡充や、子育て支援の多様なニーズへの対応に振り向けられる。といったメリットがあります。これらは、いずれも子ども達の保育環境の向上につながると考えます。</p> <p>再編を進めるにあたっては、保育所が閉所した際の児童の受入れなど、民間保育所の協力無くしては成り立ちません。今後も銚子市民間保育園連絡協議会とも連携、協力しながら、市全体の保育を考えていきたいと考えます。</p>
12	<p><b>【公立保育所の再編の必要性について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（再編の必要性について、）①～④のどの項目も必要性に欠ける。民間活力の活用がひいては行政サービスの効率化になるとしては、アイデア次第でできることがある。「特別な支援を要する児童への対応拡充」は現状のままでは対応出来ないような大きな負担を伴うものなのか。「子育て支援の多様なニーズ」とはどういうものがあるのか。2つの保育所を閉鎖することで失われる150以上家族の保育環境を奪ってまで振り向けるべきニーズとは何なのか。現状のままでは応えられないようなニーズなのか。</li> </ul>	<p>公立保育所では、障害のある児童や、外国人家庭・ひとり親家庭・貧困家庭など福祉的な支援を要する家庭の児童など、特別な支援が必要な児童について、民間保育所以上に積極的に受け入れる役割があると考えます。</p> <p>障害のある児童に対しては、障害の程度によっては、保育士の加配（追加配置）が必要となります。また、障害の診断を受けていない児童であっても、いわゆる「気になる子」には、保育士の人的資源を投入し、児童一人ひとりの状況・成長に合わせた保育を実施していきたいと考えます。公立保育所における障害のある児童（未診断の児童を含む。）の受入数は、平成27年度で28人、平成31年度で42人と5年間で1.5倍になっています。</p> <p>子育て支援の多様なニーズの例としては、本市（公営）では未実施の病児保育事業・土日保育事業や、延長保育事業・一時預かり事業の拡充などが考えられますが、いずれもその実施には保育士の人的資源が必要となります。</p>

		閉所する方針の保育所に在籍するお子さんの保育環境との比較はできませんが、市全体の保育行政を考えた場合、保育士不足の現状の中、再編により保育士のいわゆる正規率を高めることや、その他多様な雇用形態の保育士を確保していくことが必要であると考えます。
13	<p><b>【公立保育所の再編の必要性について】（財政効果）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この再編案でどれだけの経費が削減できるのか。保育士さん（貴重な人材）を減らして人件費を削減するのか。</li> </ul>	<p>今後の入所見込児童数の減少を考慮し単純に推計すると、令和7年度には保育士の必要配置数は公立保育所全体で最大19名減少する見込みです。この人数を減らせば、当然人件費も抑制されます。しかしながら、この人数全てを減らすのではなく、特別な支援を要する児童への対応拡充や、子育て支援の多様なニーズへの対応に振り向け、子育てサービスの充実を図ることが重要だと考えています。</p>
14	<p><b>【再編対象施設の検討項目について】（年齢別検討）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0歳児から保育を必要とする保護者は確実に増えている。4歳児、5歳児については30人に1人の保育士で対応できるが、0歳児では児童30人に対して10人の保育士が必要になる。保護者の希望に添っていくためにも、再編方針の策定にあたって、年齢別の検討が必要ではないか。安心して子育てができるまちを目指すためにも、保育所の統廃合は十分な検討が必要と考える。</li> </ul>	<p>方針案における今後の入所見込児童数は、同時に策定している第2期子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」を考慮しています。</p> <p>0歳児については、過去5年間の利用率から、今後もほぼ横ばい（21.24～21.32%）で推移すると見込み、出生数の減少に伴い、利用児童数は減少する（43⇒36人）推計となっています。</p> <p>1・2歳児の利用率は、過去5年間が増加しており、今後も増加の傾向は続くと考えられます。一方で、本市の（25～44歳）女性就業率が国の目標（2020年、20～64歳就業率80%）に比べ77.0%と比較的高い水準であり、女性就業率の上昇に伴う保育の需要拡大は、一定程度に止まると見込みました。令和6年度における利用率は、対平成31年度比で7.95ポイント増加の60.0%と推計しました。利用率の上昇は見込んだものの、子どもの数の減少を反映し、入所見込児童数は減少する推計となっています。</p> <p>このように、子ども子育て支援事業計画及び方針案において、未満児の利用率の上昇を見込んでおり、その重要性は認識しています。今後、より良い保育環境のため、受入体制などを検討・整備していく必要があると考えます。</p>
15	<p><b>【再編対象施設について】（第二保育所への集中）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2保育所に雨天時のお迎えの車が集中したらどうなるか。（海鹿島保育所には駐車場があり、先生方の協力もありスムーズである。）</li> <li>今は第三保育所や海鹿島保育所に分散している東部の利用者が、それらが閉所してしまったら第二保育所に集中すると思われ、第四保育所で受けきれなかった分を第二保育所で受けることは難しくなるのでは</li> </ul>	<p>第二保育所は数台の車を止める場所が確保されていますが十分とはいえません。職員による送迎時の駐車場対応や、旧（市営）プールの跡地の有効活用なども検討していきます。</p> <p>入所先の保育所の決定にあたっては、まず保護者のご希望を優先していますが、現在においてもご希望に添えず、第二希望・第三希望の保育所に入所していただく利用調整を行う場合があります。</p>

	<p>ないか。銚子市が見限られて人口が減ることで利用者も減って空きができるでは本末転倒ではないか。</p>	<p>方針案では、公立保育所と民間保育所の全体で、待機児童を発生させることなく再編を進められる推計ですが、個々の保育所ごとには利用調整が必要な場合も想定されます。保護者のご希望に添えない場合、ご不便をおかけしますが、民間保育所と協力しながら、まずは保育所に入所できること（保育の実施の確保）を図っていきます。</p>
16	<p><b>【再編対象施設について】（第二保育所と第三保育所の集約）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海鹿島保育所を存続し、第二保育所と第三保育所を集約したらいい。</li> </ul>	<p>再編する対象施設についての考え方は、方針案9ページ下段からの「3公立保育所再編（統廃合）対象施設」に記載のとおりです。</p> <p>方針案では、どの保育所を閉所するのではなく、どの保育所を存続させることが、より再編の影響を最も小さくするかで視点を検討しました。市域全体での配置バランス、保護者の希望への対応、閉所する施設の在所児童の受入れ、特別保育実施の可能性などを考慮し、再編の影響をより小さくするため、方針案の結論として、第二保育所と第四保育所を存続させることとしました。</p>
17	<p><b>【再編対象施設について】（第四保育所の災害対策）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第四保育所の存続について、地震・津波・冠水等、自然災害に対する安全対策はどのような検討を行ったのか。</li> </ul>	<p>第四保育所の建物は耐震診断が実施済みであることから、地震に対しては安全が確保されていますが、子ども達の安全確保対策として、年間14回の地震避難訓練を行っています。</p> <p>また、第四保育所は、津波浸水想定区域には入っていないものの、津波浸水想定区域に近い場所に位置しています。このため、通常地震避難訓練に加えて高台（市立銚子高校）への津波避難訓練も実施しています。また、令和元年10月に発生した利根川増水の際には、閉所日（休日）であったため子ども達は登所していませんでしたが、保育所職員が周辺の状況確認を実施しました。</p>
18	<p><b>【再編対象施設について】（海鹿島保育所の保育環境の良さ）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（海鹿島保育所の）閉所は反対。</li> <li>海鹿島保育所を選んだ理由は、自宅から近いのみではなく、自分も卒業した場所である、その時の先生が現役で活躍されている。安心して子供を預けることができる。</li> <li>海鹿島保育所は先生方の入れ替わりが少なく、全ての先生が自分の子供の名前を覚えていてとても安心感がある。なくなってほしくない。</li> </ul>	<p>海鹿島保育所は、その運営者である銚子市社会福祉事業団のもと、所長はじめ保育士の皆さんの努力により、素晴らしい保育環境を整え、また地元に着目した保育所です。そのため、海鹿島保育所の素晴らしさを訴えるコメントが数多く提出されたものと認識しています。</p> <p>他の公立保育所でも、今以上に保育士の能力の向上を図り、児童一人ひとりに寄り添った保育の実施に努めていきたいと考えます。また、地域との関係性では、現在も夏祭りや運動会などで地域の皆様との交流に努めています。今後も、より良い保育環境の確保、向上に努めていきます。</p>

- ・ 運動会、お遊戯会、夕涼会など行事に一生懸命な先生と、1才児の孫の卒園まで過ごさせてあげたい。海鹿島保育所を閉鎖するのは反対。
- ・ 先生の給料もUPした方がいい。親目線で見ると本当に大変な仕事。子供好きじゃないと出来ない。本当に頭が下がる。感謝しかない。全ては銚子市の未来のために。こんな温かい保育園（海鹿島保育所）こそ大切にしてほしい。
- ・ 海鹿島保育所に途中入所で受け入れてもらったが、先生方、園の雰囲気がとても良く安心感がある、まわりの評判が良い、アットホームな感じが良い、自然環境が良い、息子もとても気に入っているため、「来年も海鹿島保育所！」と家族、親戚一同同じ意見。
- ・ 今の息子の成長は、本当に海鹿島保育所のおかげだと思っている。全員の先生達が子供達の名前を覚えていて、一人ひとりちゃんと理解している保育所は海鹿島保育所だけだと思う。
- ・ 保育所に通う前、所定開放で娘は大喜びで遊んだ。私自身も子育ての相談にのってもらったり、育児の心強い味方になってくれた。また、長く在席する先生方も多く、安心感がある。海鹿島保育所の閉鎖することは不適切と考える。
- ・ （海鹿島保育所は）昔から地元の方とも仲の良い保育所で、夕涼会や運動会は父兄の方々以外にもご近所の方が参加している「おせっかい」のある場所。このような昔なつかしい教育をする機会、場所を子供達から奪ってしまうのはいかがなものか。こういう貴重な教育機会こそ残していくべきではないか。
- ・ （海鹿島）保育所の運動会、夕涼会など近所の方も一緒になって盛り上げて、とても良い光景なので消さないでほしい。
- ・ 海鹿島保育所は地域の方々から昔の遊びをたくさん教えてもらい、目を輝かせ遊ぶ子供達の顔を見るととてもしあわせを感じる。とても良い環境の中でのびのびと育つ子供達が、今の時代には必要ではないか。
- ・ 保育所再編は物理的に数的観点からのみで為されるべきではない。保育所に求められるのは、子どもを安心して預けられる環境であること、信頼できる先生方がいること。海鹿島保育所は先生方がきめ細かく子ども達を指導し、食育にも力を入れている。母親にとって子どもを安心して預けられる要素が沢山ある。また、地域の方々との関わりも深く、子どもにとって非常に理想的な環境である。
- ・ （海鹿島保育所は）“子どもと先生と保護者の三角形”が密で、素晴らしい関係性を築いている。よく観察し、褒める所は褒め、叱るべきところは叱ってくれる良い保育士さんが育っている、指導されている

保育所を再編することにより、  
 ・一定規模の入所児童数を保ち適正規模での集団生活の機会を維持できる。  
 ・遊具などの設備、備品も含め、施設の維持改修費用を存続する保育所に集中して投資できる。  
 ・保育士の正規率が高まることによって生じた人的資源を特別な支援を要する児童への対応拡充や、子育て支援の多様なニーズへの対応に振り向けられる。といったメリットがあります。これらは、いずれも子ども達の保育環境の向上につながると考えます。

方針案では、入所率の状況、入所児童の適正規模、入所児童の居住地の重複、建物の状況、周辺道路の状況、他施設との距離、他保育所等への転所の影響を総合的に検討した結果、海鹿島保育所を閉所する方針としましたが、保育環境の優劣で決定したものではありませんので、ご理解をお願いします。

	<p>保育所だと思う。海鹿島保育所の閉鎖は反対です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生方の温かさ、地域の方々の優しさ、今どき珍しい。かけがえのないもの。絶対なくしたくない。元々は保育所に近い場所に住んでおり、引っ越しして遠くなったが、片道15分かけても通いたくなる場所。海鹿島保育所閉鎖を考え直してほしい。</li> <li>公立保育所が定員割れしている中、海鹿島保育所は定員70人に対し74人通っている。それは保育士の方々や地域住民の日々の努力の証ではないか。他にも私立も公立もある中、海鹿島保育所が良いから、預けたいからそこを選ぶ。保育士さんや協力する地域の方々を見ると、今みんなが忘れかけている“地域で子供を育てる”ということが感じられる。その中で、より健全な子供達が育つと思う。</li> <li>海鹿島保育所をなくすことは大反対。たくさんのいい特色（0才児を積極的に受け入れてくれる、先生の入れ替わりがない、きれいに施設を使っている、食育がしっかりしている、先生達がみんなプロフェッショナル。）のあるこの保育所をなくす必要はないと思う。</li> <li>海鹿島保育所は、未満児を積極的に受け入れ、働きたい家庭の要求を満たしている。これを叶えることで、銚子市は働きやすい街になり住む方も増えると思う。</li> <li>これからの子ども達に海鹿島保育所は絶対に必要だと思うので、再編案の再考を強く求める。</li> </ul>	
19	<p><b>【再編対象施設について】（海鹿島保育所の周辺環境の良さ）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海鹿島保育所で孫がお世話になっていたが、車の運転ができず、歩いて行っていた。孫の両親は忙しく迎えには行けなかったのも、もし海鹿島保育所がなければ、孫は保育所に預けられなかったかもしれない。海鹿島保育所の閉鎖は反対。</li> <li>海鹿島保育所はとても良い所に建てられている。保育所から電車が見え、四季折々の草花、虫の声が聞け、秋には保育所内で芋掘り体験ができる。</li> <li>海鹿島保育所は、自宅・勤務先に一番近く、なくなるととても困る。駐車場もあり、送り迎えもしやすい。海鹿島保育所を閉所することは不適切と考える。</li> <li>（海鹿島保育所の）周辺道路は他と違って送迎用駐車場もあり、先生方も協力的でスムーズに送迎できる。</li> </ul>	<p>再編対象施設の選定にあたっては、入所率の状況、入所児童の適正規模、入所児童の居住地の重複、建物の状況、周辺道路の状況、他施設との距離、他保育所等への転所の影響を総合的に検討した結果、海鹿島保育所を閉所する方針としましたが、周辺環境の優劣のみで決定したものではありませんので、ご理解をお願いします。</p>



20	<p><b>【再編対象施設について】（海鹿島保育所の施設状況）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（海鹿島保育所の）建物は何があっても平屋なのですぐに庭に避難でき、小さな子供達なので階段を使うよりも速やかに移動できる。</li> </ul>	<p>公立保育所では、子ども達の災害に対する安全確保対策として、ソフト面では定期的に避難訓練を行っています。また、ハード面では2階建ての第二保育所と第四保育所に避難用滑り台が設置されています。引き続き、ハード・ソフトの両面で災害等への対応に留意していきます。</p>
21	<p><b>【再編対象施設について】（海鹿島保育所の入所ニーズ）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（海鹿島保育所に）70名を超える子ども達が通っているのは、ニーズがあるということではないか。</li> <li>海鹿島保育所は、定員を満たしているのでもこのままでも良いのではないか。</li> <li>定員70名に対して74人の児童が海鹿島保育所に在籍しており、地域のニーズは満たしているため、閉園する現状に今はない。</li> </ul>	<p>海鹿島保育所の平成27年度から平成31年度までの過去5年間の年度当初の入所児童数は、61人、69人、64人、65人、56人であり、定員に届いていません。</p> <p>海鹿島保育所では年度途中の入所児童を受け入れている状況ですが、途中入所の受入れは、年度当初における空き状況や保育士の配置数によって受入れの可否が左右されます。</p> <p>今後令和6年の保育所・幼稚園入所見込児童数は、市全体で811人となり、平成31年の1,136人から28.6%減少する推計となっています。将来的には、海鹿島保育所に限らず、その他の保育所においても定員割れの状況が懸念される場所です。このため、保育所の再編（集約）が必要であると考えます。</p>
22	<p><b>【再編対象施設について】（海鹿島保育所の老朽化）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海鹿島保育所は、築年数は長いですが、補修が施されており、老朽化を感じさせない。今の状態でも子供たちにとっては良い保育環境である。</li> <li>（海鹿島保育所の）建物の状況は特に問題はない。</li> </ul>	<p>海鹿島保育所は、現時点で保育の実施に支障はありませんが、老朽化は進んでいます。</p> <p>施設の大規模改修、建替えの対応方針について、銚子市公共施設等総合管理計画の考え方を採用すると、建替えは60年ごと、大規模改修は30年ごとを実施することとなります。海鹿島保育所は、建築後51年が経過し、建替え目安の60年には至っていませんが、既に建替えの検討が必要な時期だと考えられます。</p>
23	<p><b>【再編対象施設について】（海鹿島保育所の施設改修の負担）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海鹿島保育所が市の負担になっているか説明が不十分。</li> <li>（海鹿島保育所）施設の劣化・老朽化に関して修繕費がどれくらいかかるのか詳しいデータが記載されていないため、再編理由の一つとしては弱い。</li> <li>海鹿島保育所は公設民営の施設であるため、運営は銚子市社会福祉事業団が行っている。市が関わってくるのは所有している建物だけであるため、市の財政改善に大きな影響はないと考えられる。</li> </ul>	<p>施設の維持管理経費については、海鹿島保育所に限らず、年々の、経常的な修繕経費を含め、その積み重ねや、今後行わなければならない大規模改修や建替えの経費について考えると、相応の金額になります。</p> <p>施設の大規模改修、建替えの対応方針について、銚子市公共施設等総合管理計画の考え方を採用すると、建替えは60年ごと、大規模改修は30年ごとを実施することとなります。第二・第三・第四保育所</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>海鹿島保育所については専門的な調査が行われておらず、危険度や今後必要となる改修費用も不明。他の3つの公立保育所の施設の状況はどうか。「保育所施設」について具体的な改修費用等がわからない中で、「施設」を理由に統廃合を行うべきではない。公立保育所の統廃合は白紙撤回した後に、保育所施設の調査検討を行い、具体的危険度や改修費用などを示すべき。</li> <li>この再編案でどれだけの経費が削減できるのか。老朽化した施設の維持にお金がかかるのか。閉鎖しようとする2か所はどちらも耐震基準を満たしている建物で、すぐに取り壊さなければならない建物ではない。</li> </ul>	<p>は、既に大規模改修を実施する時期になっており、また、海鹿島保育所は建替え目安の60年には至っていませんが、今後数年のうちに建替えの検討が必要となります。建築経費についても、銚子市公共施設等総合管理計画の考え方を採用すると、次のとおりとなります。</p> <p>第二保育所（大規模改修） 237,427千円  第三保育所（大規模改修） 178,512千円  第四保育所（大規模改修） 143,223千円  海鹿島保育所（建替え） 144,903千円</p> <p>また、海鹿島保育所の建替えの建築経費について、独立行政法人福祉医療機構の平均データを採用すると、147,538千円～207,480千円の費用が見込まれます。</p> <p>これらの金額は、あくまでも推計値、見込値ですが、海鹿島保育所の維持管理経費のみが負担となるものではなく、4つの施設の全てを維持していく負担は大きいため、施設を集約し、財源を集中することにより、公立保育所全体の維持費が抑制され则认为ます。</p>
24	<p><b>【再編対象施設について】（海鹿島保育所の改修経費）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海鹿島保育所を建物の問題だけで閉所するのはもったいない。TVのリフォーム番組「ビフォアアフター」に応募することを検討のうえ、許可してもらえないか。</li> <li>海鹿島保育所については、建物の老朽化が大きな問題と聞いている。TV番組「劇的！ビフォアアフター」にリフォームを依頼してはどうか。“子育て環境にも力を入れている町”としてPRにもつながり、海鹿島保育所だけでなく、町の人口減を食い止める手立てにもなるのではないか。</li> </ul>	<p>番組情報の詳細を把握していませんが、同番組を活用するには、施設基準の確保方法、財源措置問題などクリアすべき課題が多くあるのではないかと考えます。</p>
25	<p><b>【再編対象施設について】（海鹿島保育所の転所）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>もし海鹿島保育所がなくなり、違う保育所や幼稚園に行く事になったらと思うと、まず子供が心配でたまらない。まわりの環境に慣れて、楽しく通う息子の姿を見れなくなってしまうのかと思うとすごく不安。海鹿島保育所を閉鎖することに反対。</li> <li>海鹿島保育所がなくなった時、下の2才の子は確実に別の保育所に移れるのか、待機児童にならないか、なったとしたら仕事を辞めざるを得なくなって生活ができない。</li> </ul>	<p>入所先の保育所の決定にあたっては、まず保護者のご希望を優先していますが、現在においてもご希望に添えず、第二希望・第三希望の保育所に入所していただく利用調整を行う場合があります。方針案では、公立保育所と民間保育所の全体で、待機児童を発生させることなく再編を進められる推計ですが、個々の保育所ごとには利用調整が必要な場合も想定されます。海鹿島保育所在籍児童は、転所希望先の継続児と同様に優先的扱いとしたいとありますが、保護者のご希望に添えない場合、ご不便をおかけしますが、民間保育所と協力しながら、まずは保育所に入所できること（保育の実施の確保）を図っていきます。</p>

26	<p><b>【再編対象施設について】（海鹿島保育所の閉所時期延期）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（海鹿島保育所が）もし本当に最悪なくなってしまう場合、今いる在園児たちだけでも卒園させてからの廃園にしてほしい。</li> </ul>	<p>海鹿島保育所を閉所する場合、どのタイミングで閉所するとしても、在所児童の転所の影響を全て解消できませんが、その影響を最小限に留めなければなりません。方針案で令和4年度末の閉所を設定した理由は、令和2年度に入所する3歳児がそのまま海鹿島保育所で卒所することができるためです。しかしながら、0・1・2歳児は途中転所が必要となります。</p> <p>いただいたご意見も踏まえながら、対応していきたいと思えます。</p>
27	<p><b>【再編対象施設について】（海鹿島保育所の民営化）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海鹿島保育所の民営化を提案する。仮に市が海鹿島保育所を閉園したとしても、市の財政に対する影響は大きくない。海鹿島保育所の施設を銚子市社会福祉事業団が買い取り、完全民営化できれば、市には一時的ではあるが施設の売却費が入り、その後の管理費も掛からないなどのメリットがある。</li> <li>海鹿島保育所は公設民営ではなく、民営として残す方法もあるかと思う。事業団所属にするのはどうか。</li> </ul>	<p>海鹿島保育所を民営化（民設民営）するためには、保育所施設を譲渡することとなります。海鹿島保育所を今後も永続的に運営していくには、近々のうちに相当額の建替え費用が必要となります。市ではこの費用の捻出が困難であり、民間譲渡の検討を行うとした場合には、この建替え費用が大きな課題となることが想定されます。</p> <p>なお、方針案では、海鹿島保育所の民間譲渡の考え方は採用していません。</p>
28	<p><b>【再編対象施設について】（再編後の配置）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育所は、そこに住む人に直結した、出来るだけ近くに施設があることが重要。半島側の産業を支える若い世代が安心して働き、子育てができる環境を作り残すことは、産業の発展を促し、銚子の明るい未来にもつながる。そのことを無視して市の中心地に公立保育所を集中させることは、デメリットはあってもメリットはない。</li> <li>保育所は幼稚園や小学校と違い市内全域を隈なくカバーすべき施設。</li> </ul>	<p>保育所が自宅や勤務先に近く、数多くあるということは保護者にとってとても利便性が高いと考えます。</p> <p>一方で、入所児童数の減少により、保育所における集団生活の規模が小さくなり過ぎると、子ども達が小学校就学前に成長とともに獲得すべき、集団の中でなければできない、多くの友達との関わりから身に着ける能力や充実感を得る機会を奪いかねません。施設を集約することにより、集団での保育所行事に支障が生じる懸念を払拭し、子ども達の適正な規模での集団生活を維持することは、再編の必要性の一つであると考えます。</p>
29	<p><b>【再編の実施時期等】（海鹿島保育所の先行閉所）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定員が最も小さいという理由で、（海鹿島保育所を）先行して閉所すべきではない。第三者から見て納得できない。</li> </ul>	<p>閉所時の在籍児童の転所を考慮した場合、規模の小さい施設の閉所を選択した方が、転所の影響がより小さくなるを考え、閉所の候補施設である第三保育所と海鹿島保育所を比較し、規模の小さい海鹿島保育所を先行して閉所する案としました。</p>

30	<p><b>【再編の実施時期等】（再編方法）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童数の減少が続いており、このままでは、私立保育園は定員割れが生じ、存続が難しくなることも考えられる。これに対応するには、児童数の推移を見ながら公立保育所の定員を下げていき、公立保育所・私立保育園全体で、定員割れや待機児童が出ないように調整していくしか方法がない。</li> </ul>	<p>保育所を集約して数を減らす考え方は、子ども達の適正な規模での集団生活が維持できること、施設維持管理経費や人件費の面でより効率的な保育所運営ができること、経常的な修繕経費を含め今後の大規模改修や建替えの経費を集中させることにより、公立保育所全体の維持費は抑制できることなどが、メリットだと考えます。</p> <p>定員を調整する対応は、以上のメリットが裏返してデメリットとなると考えます。入所児童数の減少により集団生活の規模が小さくなり過ぎ、運動会などの保育所行事に支障が生じる懸念、施設の規模に見合わない非効率的な保育所運営、4施設全ての大規模改修・建替えに係る大きな経費負担などがデメリットになると考えます。</p>
31	<p><b>【今後の保育について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来的に銚子の出産した人の受け皿は大丈夫なのか。</li> </ul>	<p>方針案では、公立保育所と民間保育所の全体で、待機児童を発生させることなく再編を進められる推計ですが、個々の保育所ごとには利用調整が必要な場合も想定されます。保護者のご希望に添えない場合、ご不便をおかけしますが、民間保育所と協力しながら、まずは保育所に入所できること（保育の実施の確保）を図っていきます。</p>
32	<p><b>【再編賛成】（集団規模）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>銚子市の現在、今後を考えると今まさに再編時期である。方針案をどんどん進めるべき。子どもの育ちに待ったはなく、必要な集団で子供時代に経験しなければならない体験を積まなければならない。今の時代はその環境がなく、意図的に設定してあげなければならない。</li> </ul>	<p>施設を集約することにより、入所児童数の減少により集団生活の規模が小さくなり過ぎ、運動会などの保育所行事に支障が生じる懸念を払拭し、子ども達の適正な規模での集団生活を維持できることは、再編の必要性の一つに挙げられます。</p>
33	<p><b>【再編賛成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再編方針は、子ども子育て会議、銚子市行革審等で何度も議論され、銚子市が示した結論であると思う。方針に沿い実施されることを望む。</li> </ul>	<p>市民の皆様のご理解をお願いし、再編を進めていきたいと考えます。</p>
34	<p><b>【再編反対】（地域への影響）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>銚子市公立保育所再編に反対。子ども達への影響もさることながら地域への影響が大きいと思う。</li> </ul>	<p>保育所の再編は児童や保護者、地域に影響を与えることは不可避であると考えます。しかしながら、人口減少に伴う保育所入所対象児童数の減少、民間活力の活用、公立保育所施設の劣化・老朽化に伴う維持改修経費の負担、保育士の状況を考慮すると、公立保育所の再編は避けては通れない課題であると考えていますので、ご理解いただきたいと思えます。</p>

35	<p><b>【再編反対】（集約反対）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小さな所をなくして大きな所にまとめて、これでは町の小売店をなくして大型店舗に何もかもということです。</li> <li>・ 保育園は、自宅・職場に近く、何かあったらすぐに迎えに行ける所にあるべきだと思う。保育園の数、海鹿島保育所、減らす、なくすは止めてほしい。</li> <li>・ 統合せずに、最低でも現在の保育園を修繕し、維持すべき。</li> </ul>	<p>保育所を集約する考え方は、子ども達の適正な規模での集団生活が維持できること、施設維持管理経費や人件費の面でより効率的な保育所運営ができること、経常的な修繕経費を含め今後の大規模改修や建替えの経費を集中させることにより、公立保育所全体の維持費は抑制できることなどが、メリットだと考えます。</p>
36	<p><b>【再編反対】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金がない、人口が減る、夢を持てる施策なし、そしてついには情けなき銚子になろうとしている。保育所再編計画は、白紙に戻し、ゆっくり再検討を望む。</li> </ul>	<p>子育て施策の充実を図るとともに、行財政改革にしっかり取り組んでいきますので、公立保育所の再編の必要性についてご理解をいただきたいと思ひます。</p>
37	<p><b>【子育て施策の充実について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所を減らすと待機児童も増え、共働きでは子どもを産まなくなる。悪循環。子供産んでも働きやすい環境＝子供産む＝銚子の未来が明るくなる。保育所を残すことは未来への投資だと思う。</li> <li>・ 共働き・働く女性が増えた中、保育所はとても大切な存在。再編は出生率の減少にもつながり悪循環だと思う。もっと子育てのしやすい市にしてほしい。</li> <li>・ 銚子市は就学前児童数が人口減少と共に大幅に減っている。このままの状況が続けば公立保育所の利用児童数は減っていくだろう。それ故、財政難の折でもあり、施設を減らしていこうという考え方自体が時代の要請に逆行している。銚子市の人口減をただ、こういうものだと諦めて流されるのではなく、子育て支援を充実させることで「人口減少を食い止める」「高齢化社会を支える子育て世代を働きやすさで側面から支える」ぐらいの（案）があつてしかるべきではないか。</li> <li>・ 公立保育所の再編を見直してほしい。緊急財政対策により危機感が増し、公立保育所再編が実施され、第三保育所と海鹿島保育所が閉所することで、危機感が若い世代、子育て世代に、より身近な問題として迫ることとなり、世帯数の減少はますます加速するのではないか。今真っ先に市がすべきことは「育てづらさ→働きづらさ→暮らしづらさ」を招く保育所再編ではなく、子育て世代に選ばれる魅力ある町づくりだと思う。</li> </ul>	<p>現在、緊急財政対策の非常事態の中にありますが、子育て支援事業の継続、拡大には力を注ぎできました。これまで、子ども医療費助成の対象拡大・所得制限の撤廃、桜井町公園など公園遊具のリニューアル、子育てコンシェルジュの配置、子育て広場の常設化、放課後児童クラブの拡充、子育てLINEによる情報提供、子どものインフルエンザ予防接種の助成、子育て世代包括支援センターすくサポの設置など、様々な子育て支援策を展開してきました。</p> <p>本年3月には、令和2年4月から5年間を計画期間とする第2期銚子市子ども・子育て支援事業計画が出来上がります。第1期の計画では未実施となっているファミリーサポートセンター事業、ショートステイ事業、病児保育事業など新たな事業も検討していきたいと考えています。</p> <p>金銭給付など個人に対する直接的な支援策を新たに開始することは困難であるため、ソフト面を充実させることも重要であると考えています。例えば、近年増加している保育所の外国人幼児に対する支援を強化し、外国人との共生を目指していくことなども考えています。</p> <p>今後も子育て支援に関する事業を精査し、子育てしやすい環境の整備にしっかりと取り組んでいきます。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在定員割れの状況でもなく、「消滅可能性都市」からの脱却を目指すなら、やる事が逆である。子供たちや子育て世代が安心して暮らせる街を目指し、希望と将来性を感じる市政を目指すべき。</li> <li>・ 病児保育も充実させた方が良い。</li> </ul>	
38	<p><b>【人口減少・流出の懸念について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減少に火に油ではないか。</li> <li>・ 保育所があるから子どもが増えるといった単純なものではないが、逆に今保育所を減らしたら、人口減少の速度がますます加速することは確実。保育所を減らすというのは本当に最後の最後的手段としてほしい。その前にできることがもっとあるはず。</li> <li>・ 保育所を減らしては市にとってもリスクがある。隣町・市外の方が暮らしやすく転出し、保育所を減らしては更に少子化につながる。まずはもっと住みやすく、育てやすい町にすることからではないか。</li> <li>・ 保育所が閉まると子育て世代の市外への転出につながるのではないか。</li> <li>・ 再編は、銚子市民子育て世代の神栖市への転居を更に加速させ、人口の流出に拍車を掛ける。待機児童をつくらない、それこそ近隣市町村からも児童を受け入れる街づくりこそが、人口減少、市の衰退に歯止めをかける第一歩ではないか。銚子市公立保育所の再編に反対する。</li> <li>・ 近隣に転出する若い世代が少なくない中、銚子をどうにかしたいと踏みとどまっている人達の思いを無にしないためにも、未来を担う子ども達を産み、育てていく子育て世代が、これ以上銚子から出て行ってしまうことを防ぐためにも、公立保育所再編計画を今一度考え直してほしい。</li> </ul>	<p>保育所を再編することにより、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一定規模の入所児童数を保ち適正規模での集団生活の機会を維持できる。</li> <li>・ 遊具などの設備、備品も含め、施設の維持改修費用を存続する保育所に集中して投資できる。</li> <li>・ 保育士の正規率が高まることによって生じた人的資源を特別な支援を要する児童への対応拡充や、子育て支援の多様なニーズへの対応に振り向けられる。といったメリットがあり、これらはいずれも子ども達の保育環境の向上につながると考えます。こうしたメリットを示すことにより、再編が人口減少に悪影響を及ぼさないよう十分配慮していきます。</li> </ul> <p>また、本年3月には、令和2年4月から5年間を計画期間とする第2期銚子市子ども・子育て支援事業計画が出来上がります。第1期の計画では未実施となっているファミリーサポートセンター事業、ショートステイ事業、病児保育事業など新たな事業も検討していきたいと考えています。計画に掲載する事業に積極的に取り組み、今後も子育てしやすい環境の整備に努めていくことも重要だと考えます。</p>
39	<p><b>【行革優先の再編方針について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立保育所再編（案）は行革の流れにおいて支出削減優先を進めるための期限ありきで作成されたものと思える。事業所を判断するとき、通常、その事業所の環境を含めて強み、弱み、良い点、悪い点を加味して判断すべきだが、この再編（案）は成されていない。いつ海鹿島保育所が閉鎖の最優先になったかその経緯が曖昧。</li> </ul>	<p>平成30年11月、市が公表した「銚子市緊急財政対策」では、保育所の統合・集約化の項目を掲載し、民間を含めた必要数を整理し、統廃合スケジュールを示すとなりました。ただし、緊急財政対策に位置付けられたことにより、保育所再編が検討され始めたものではありません。</p> <p>平成23年12月に「銚子市公立保育所再編方針」を策定し、この方針に基づき、平成24年11月には「銚子市公立保育所再編方針実</p>

		<p>施計画」を策定し、第一保育所を休廃止することとしました。この実施計画では、その後の公立保育所の定数削減、再編等の必要性を検討するとしていましたが、具体的な検討には至っていませんでした。</p> <p>今回、今後の就学前児童数の推移や、施設の劣化・老朽化の状況など様々な条件を勘案し、今後の保育所の在り方を総合的に検討するとともに、公立保育所の再編を推進するため、方針案を策定したものです。</p> <p>この方針案で総合的に検討した結果、海鹿島保育所は閉所する方針としました。</p>
40	<p><b>【市の財政努力について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厳しい財政状況や少子化もわかるが、市の努力は十分なのか。</li> </ul>	<p>市では、平成25年5月の財政危機宣言以降、事業仕分け、緊急改革プランの実施、第7次銚子市行財政改革大綱の実施など行ってきました。平成30年11月には、銚子市緊急財政対策を発表し、更なる取組みを進めてきたところです。今後も引き続き行財政改革の取組を推し進めていきます。</p>
41	<p><b>【小・中学校の再編について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼少期は、目をかけ、手をかけてあげ、小学校・中学校では協調性と共に競争心をつくるなどしていく必要があると思う。今からの赤ちゃんや保護者に対し、手厚くしてあげ、小学校・中学校の統合が先に行うべきだと思う。このような政策では、市に対しての不信感が募る。</li> <li>・ まず、小・中学校を再編したうえで保育所を再編すべき。順序が違う。</li> </ul>	<p>小学校・中学校の再編については、別途検討しているところであり、方針案の内容には含まれていませんので、ご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>
42	<p><b>【幼稚園について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要な集団の中で人としての基礎をはぐくみ就学するという意味から、現在の公立幼稚園の在籍数に疑問を持つ。銚子市にはもはや公立幼稚園は必要ない。</li> </ul>	<p>公立幼稚園の在り方については、方針案の内容には含まれていませんので、ご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>